

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学Ⅲa	2	数Ⅲ702	東京書籍	数学Ⅲ Standard

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>・「数学Ⅱ」の内容を発展、拡充させることができるようにする。</p> <p>・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。</p>
<p>評価の観点</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>・事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力を身に付けている。</p> <p>・いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
	4月 (10月)	<p>1章 関数と極限</p> <p>1節 関数</p> <p>1 分数関数とそのグラフ</p>	<p>分数関数 $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフをかくことができる。また、分数関数のグラフの特徴を理解する。</p>	第1回	スクーリング 6～7月 (10～12月)	<p>分数関数とそのグラフ</p> <p>逆関数と合成関数</p>	0.2	行動観察 課題プリント
		<p>2 無理関数とそのグラフ</p> <p>3 逆関数と合成関数</p>	<p>無理関数 $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフをかくことができる。また、無理関数のグラフの特徴を理解する。</p> <p>逆関数の意味を理解し、関数の逆関数を求めることや、関数のグラフからその逆関数のグラフをかくことができる。また、合成関数の意味を理解し、2つの関数の合成関数を求めることができる。</p>		4月 (10月)	<p>その他メディア学習により免除</p>	0	レポート 視聴報告書
		<p>1章 関数と極限</p> <p>2節 数列の極限</p> <p>1 数列の極限</p>	<p>数列の収束、発散と数列の極限の基本的な性質について理解し、数列の極限を求めることができる。</p>		スクーリング 6～7月 (10～12月)	<p>数列の極限</p>	0.1	行動観察 課題プリント
		<p>2 無限等比数列</p>	<p>無限等比数列が収束する条件を理解し、そのことを用いて数列の極限を調べることができる。</p>					

